

あふかり



学生消防団の活動に総務大臣表彰

【学生消防団の活動紹介】

本学では、救急・災害看護学を選択している学生15名が、学生消防団として活動しています。本学の学生消防団は、小・中・高校生を対象とした救命講習、市民への啓発活動、その他、嶺南地域を中心とした各種イベントに参加しています。このような活動が認められ、昨年、総務大臣より表彰を受けました。今後も、敦賀美方消防組合と協力しながら地域に貢献していきたいと考えています。

【消防署からのコメント】

学生消防団の皆さんには、学業にお忙しい中、消防団の活動にご協力いただきありがとうございます。救命講習では、救急隊とは違った視点から指導される姿を見て、こちらも勉強させていただいております。(敦賀消防署 救急救命士)

【学生コメント】

私たちは学生消防団として近隣の学校や地域のイベントなどで、中・高校生や住民の方を対象に心肺蘇生法の指導を行っています。皆さんに興味を持って学んでもらえるように、対象者に合わせてわかりやすく伝えることが難しいと感じることもありますが、救急救命士や他の団員の方に教えていただきながら活動できたことは大変よかったですと思っています。(吉田 萌美、吉村 文伽 [4年])

地域・在宅ケア研究センター

本学には、研究及び地域と大学をつなぐ架け橋の機能を持つ、地域・在宅ケア研究センターがあります。教員それぞれの知識と知恵を活かして、住民の皆様や専門職の方を対象とした公開講座等を実施しております。また、地域の方の健康づくりを支援し、地域に開かれた大学として気軽に集い、交流する場を提供することを目的とした「看護大学健康講座」を定期的に開催しております。

これらの活動の一部を紹介いたします。

地域 貢献

令和元年度 市民公開講座等実施状況 (抜粋)

講師派遣等含め 計86件【県内44(うち市内14)】 ※10月末現在(実施予定を含む) 順不同 下記の他に、自治体などからの委員等のご依頼も多数いただいております。

講座テーマ名等	講師	実施団体	実施場所
男のための元気づくり道場	北村 隆子	敦賀市	あいあいプラザ
ストレスとの上手なつきあい方、リラクゼーション法の実践	長井麻希江	敦賀市(いきいき生涯大学)	あいあいプラザ
情報を活かした市立敦賀病院活用法	杉浦 良啓	つるが男女共同参画ネットワーク	敦賀市立看護大学
地域で共に暮らし働く社会をめざして	長井麻希江	敦賀市地域自立支援協議会	二州青松の郷
笑いと健康 ～笑いのある生活で認知症にさようならを～ ※	畑野 相子	中郷地区老人会	敦賀市中郷公民館
知っていますか?薬の常識非常識	山崎 弘美	あわら市教育委員会	あわら市湯のまち公民館
生活習慣病としてのがんとうがん検診 ※	喜多 義邦	美浜町	美浜町佐田公民館
認知症になっても自分らしく暮らすための備え・予防、家族が認知症になった場合の対応	木谷 尚美	美浜町	美浜町佐田公民館
「看護職への道」講演会	山崎加代子	福井県看護協会	敦賀市立看護大学
心の健康づくり～ストレスをためない暮らし方をしよう	長井麻希江	大野市教育委員会	学びの里「めいりん」

※は下記にて紹介



○笑いと健康

敦賀市中郷地区老人会の方(約100名)を対象に、「笑いと健康」をテーマに講座が行われました。認知症になるリスクを軽減するポイントとして、①物事を肯定的に考えること(ポジティブシンキング)、②脳にご褒美をあげよう(笑いのある生活)の2点について、データを用いながら、時に笑いを取り入れながら進められ、参加者には熱心に耳を傾けていただきました。



○生活習慣病としてのがんとうがん検診

私は健康づくり実践者として2年目に入りました。喜多義邦先生の話聞き、ガンは今では2人に1人がなるという現状や、早期に発見できさえすれば恐ろしい病気ではないということ等を皆さんに伝えることは大事な役割だと感じました。

健診を呼びかけて、早期発見でガン退治できる体制に取り組み、年に1回のガン検診を行い、2人に1人の中に入らない様に取り組んでいきます。(聴講した健康づくり実践者からのコメント)

看護大学健康講座

(令和元年7月13日・9月7日)

本学では、地域の方の健康づくりを支援し、地域に開かれた大学として住民が気楽に集い、交流する場を提供する目的として「看護大学健康講座」を定期的に開催しています。

今年度実施した講座の一部を紹介します。

○テーマ「健康は足から」(7月13日開催)

本学の教員が講師となり、生活習慣病予防や認知症予防にも繋がる足の健康について、足の役割や足の働き方を損なわないための靴の履き方、足指のリラックス方法などについてお話をさせていただきました。参加者は住民51名でした。

○テーマ「色々な視点からの介護予防」(9月7日開催)

本学の教員の他、健康運動指導士、歯科衛生士の方を講師にお招きし、様々な専門職の視点から介護予防につながるお話や実践(軽い運動やお口の体操など)を行い、21名の住民の参加がありました。

その他、血圧や血管年齢などの健康チェックや健康相談を行いました。



美浜町との協働プロジェクト紹介 (令和元年7月～9月)

『美浜町住民が看護大学生と共に造る健康で安全な暮らしと災害対策』



今年度、福井県の「地域人材育成支援事業補助金」を活用したプロジェクトの一環として、美浜町と協力し、町民の健康づくりや災害対策を本学学生(救急・災害看護学、在宅看護学を選択している40名)が主体となって、様々な取り組みを行いました。

○モデル地区(郷市区)を選定し、地域訪問調査を実施(7月)

美浜町にある37集落からモデル地区となった郷市区の住民を対象に、「災害から命を守る健康づくり」に関する調査を実施しました。学生は、各家庭を訪問し、家族の健康状態や災害の備えについての聞き取りを行いました。また、地域調査を行い、危険箇所をまとめた「学生版ハザードマップ」を作成しました。この調査結果を報告会にて発表し、住民の方々と意見交換を行いました。

○災害から命を守る健康づくりのための活動(8月・9月)

- ・8月25日に美浜町で開催されたイベントに学生が参加し、住民が日常生活の中に取り入れられる足腰の鍛え方の指導や健康相談を行いました。
- ・9月8日に開催された郷市区自主防災会総合防災訓練に学生12名が参加し、住民の救出や救急法の指導を行いました。

今回のプロジェクトに参加した住民の方からは、「家族で話し合う機会になった」、「自分たちでは気づかない危険箇所が分かった」、「災害対応には普段の健康づくりが大切だと分かった」など、防災についての意見をいただきました。また、学生にとっても生活の場へ出向き、住民のお話を聴くことで、災害対策や健康づくりについて具体的に考える良い機会となりました。

COC+看護福祉分野「放射線看護研修会」

(令和元年9月20日)

地方創生推進事業（COC+）で本学が主幹校となっている「看護福祉分野」では、9月20日に【正しい放射線の理解】というテーマで、研修会を開催しました。県内大学の看護学生や一般看護師など46名の参加があり、8割の人から、良かったとの感想が得られました。

内容は、まず『身の回りの放射線を正しく理解しよう!』という事で、放射線の基礎知識の講義に始まり、演習で身の回りの放射線量測定を体験、自然放射線の存在を学びました。

次に、放射線災害がもたらすリスクについて理解しあうことを目指し、グループに分かれて、『リスクコミュニケーション』というワークを行いました。

受講生からは、学びが深まった、わかりやすかったなどの意見のほか、定期的にこのような研修があると、災害時に役立つと思う、という次につながる貴重な意見も得られました。



(令和元年9月14日～15日)

高浜町「和田de路地祭」に本学学生が参加してきました!



本学学生4名（2年生4名）が、県内5大学で行っている地方創生推進事業（COC+）の中の「まちづくり分野」の活動の一環として高浜町和田地区で9月14日の長街宴、15日「和田de路地祭（ろじまつり）」に参加しました。今年は、新たな拠点エリアで5大学学生が、それぞれアイデアを出し、“地域活力の向上”活動に取り組みました。本年度は、“路地の博覧会～遊美（あそび）～”をテーマに誰もが安全に楽しめる遊びを提供しました。当日は昨年度まで活躍した本学卒業生3名も日々の勤務の合間を縫って現地に駆けつけ、COC+の活動で得た“和田地区”との絆や他大学学生との交流などを行ってきました。

引き続き、本学では地域交流の機会として敦賀市をはじめ嶺南地区全体で今後も取り組んでいきたいと考えています。

※地方創生推進事業(coc+)とは…県内全ての4年制大学(本学を含む5大学)が、福井県および産業界・医療界等と一体になって、地域の持続的な発展とイノベーションを推進する担い手を育てようとする事業です。(詳細は<http://www.allfukui-cocp.jp/>をご覧ください)

カナダ語学研修

(令和元年9月6日～9月27日)

今年度も9月6日～9月27日までの約3週間、カナダケローナにあるオカナガン大学(Okanagan College)において語学研修を実施し、本学4年生と2年生あわせて10名が参加しました。大学での英語の講義や現地の医療・福祉施設を訪れ、カナダの医療・看護を学びました。参加した学生は、英語での会話に最初は四苦八苦しながらも徐々に慣れ、日本では経験できないようなことを多く学び、充実した語学研修となりました。

学事



カナダ研修を終えて

研修に行く前の私は初めての海外に不安でいっぱいでした。しかし、素晴らしい自然や現地の方の温かさに触れ、とても充実したあっとい間の3週間でした。現地の方は、私のつたない英語でも積極的に話しかけると一生懸命聞き取ろうとくださり、英語で会話をする楽しさを感じることが出来ました。海外研修を通して語学力の向上や異文化理解だけでなく、自分の将来の視野も広がり私の人生の中で本当に貴重な経験ができたと思います。(加藤颯紀)

カナダ研修を終えて

私は、このカナダ研修がはじめての海外でした。最初は、自分の英語力で3週間も過ごせるのか、とても不安でした。しかし、ホストファミリーや現地の方は、私のペースにあわせてコミュニケーションをとってくださったので、そのような心配はすぐに無くなりました。ケローナは安全で過ごしやすい町で、道も覚えやすかったので学校のツアー以外にも友達同士でいろいろな所に出かけました。また、様々な体験をすることができました。あっとい間の3週間でした。もっと英語力を高めて再びケローナを訪れたいと思っています。

(合田さくら)



カナダ研修を終えて

私はカナダでの3週間で、本当に貴重な体験をすることができました。ホームステイの家族やESLの先生とのコミュニケーションにあたっては、自分の思ったことを言えなかったり、言っていることが聞き取れなかったりすることがあり、とてももどかしい思いをしました。英語を話さなければならない状況に立ち、身振り手振りでもコミュニケーションをとることができ、少しずつ成長できたのではないかと思います。また、海外の文化にも触れることができ、異文化を知ることの大切さを学ぶことができました。この研修に行かなければ得られなかった素敵な思い出ができました。学んだことを生かして、今後の人生を有意義なものにしたいです。(大前嬉歩)



オープンキャンパス

(令和元年7月21日・10月27日)

今年度、本学ではオープンキャンパスを2回（第1回：7月21日、第2回：10月27日）開催し、あわせて約350名と例年を大きく上回る方にご来場いただきました。福井県内にとどまらず、北陸各県、全国各地から参加された方もおられました。

当日は、本学の特色やカリキュラム、入学試験についての説明「大学紹介」や実際の講義を体験する「模擬講義」（第1回：命を守る災害看護～身近なものから考えてみよう～、第2回：論理的思考入門）、「看護学演習体験」、「進学相談コーナー」、「学生生活コーナー・カナダ語学研修コーナー」、「学内ウォークラリー」などのプログラムを実施いたしました。

参加者からは、「学生さんや先生方が親切に笑顔で接して下さったのが印象的でした」、「模擬講義や各種体験も分かりやすく勉強になりました」、「この大学に行きたいという気持ちが強くなりました」などのお声をいただくことができ、本学を大変身近に感じていただけたようです。



大学紹介での参加者の様子



看護学演習体験の様子(母性看護学)



看護学演習体験の様子(在宅看護学)



カナダ語学研修コーナーの1コマ



進学相談コーナーの1コマ



看護学演習体験の様子(成人急性看護学)

(令和元年10月3日)

「第3回 敦賀市立看護大学研究報告会」を開催しました

令和元年10月3日(木)に「第3回敦賀市立看護大学研究報告会」を開催しました。この事業は、研究成果や実践活動の報告を通して多職種が連携を深めることにより、地域医療保健福祉活動の質の向上を目指しています。今回は、学部生や院生も参加しやすいように、平日の午後に開催しました。大学からは、学会等で発表した研究を6演題報告しました。医療機関からは「重度肩こり治療に関する研究」や「退院支援や身体拘束等に関する看護研究」など9演題報告いただきました。また、「災害から命を守る健康づくり」と題して学生による学習成果も報告されました。医療機関や行政機関、一般市民、学生、教職員等合わせて約90名の方の参加があり、活発な意見交換がされました。今後も学生の研究報告も取り入れ、敦賀市内の多職種が切磋琢磨できるような報告会にしていきたいと思っております。



海凜祭

(令和元年11月3日)



第6回海凜祭が11月3日(日)に開催されました。テーマは「彩～みんなで作り上げる祭」でした。テーマにもあるように、たくさんの方々にご協力をいただいで開催となりました。初めての試みとして、福井県立大学小浜キャンパスの学生の方々とコラボレーションして、アクアリウムやメダカすくいを行いました。また、今回のメインイベントである、マグロの解体ショーでは、本当にたくさんの方に来ていただき、地域の方々と交流する良いきっかけになったと思います。みなさんが笑顔でお帰りになるのを見て、開催して本当に良かったと心から思いました。賑やかな大学祭になったのも、みなさまのおかげです。ありがとうございました。(海凜祭実行委員長 宇野真飛瑠)

ボランティアサークル

私たちは、現在、子ども食堂への参加や小児病棟の飾りつけ、気比の松原清掃など、様々な活動に参加しています。また、大学祭(海凜祭)では、ハンドマッサージを行い、地域の方との交流を図ることもつながりました。このブースは、毎年たくさんの人に来ていただいて成り立っています。多くの人に笑顔になってもらえることが私たちの喜びです。

これからも様々な活動を通して、たくさんの人と出会い、交流を深める中で自分たちも成長していきたいと思っております。(代表 野田智子)

ダンスサークル

私たちダンスサークルは、現在8人で放課後や空き時間を使って、大学の体育館で活動しています。踊れる踊れないに関係なく、楽しい雰囲気でもみんなと一緒に練習することを目指しています。最近では、メンバー同士で教え合う姿が多く見受けられ、将来の仕事や人との関係づくりにも活かされていくと実感しています。今後は、より難易度の高い振り付けにも挑戦していけたらと考えています。(代表 福島美花)

学生の活動



敦賀市立看護大学 ジャーナル

敦賀市立看護大学は敦賀市、嶺南地域における「知」の拠点としてその機能を果たすべくジャーナルをホームページで公表しています。

◎本ジャーナルが幅広く医療に関心ある方々のお役にたてばと考えています。

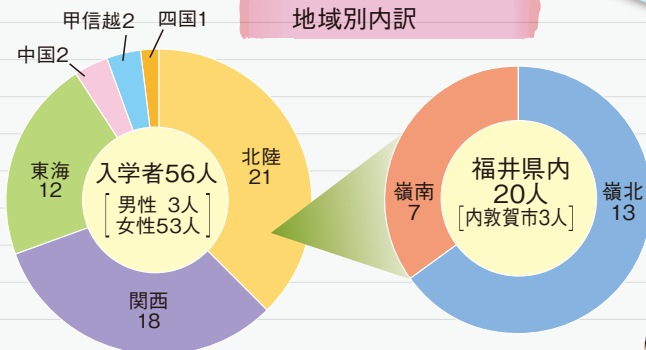
科目等履修生・聴講生の募集について

敦賀市立看護大学では、学生たちと一緒に学ぶことができる科目等履修生・聴講生を募集しています。詳細は本学ホームページの「地域・一般の方へ」のページをご覧ください。



入試関連情報

平成31年度入学生の地域別内訳

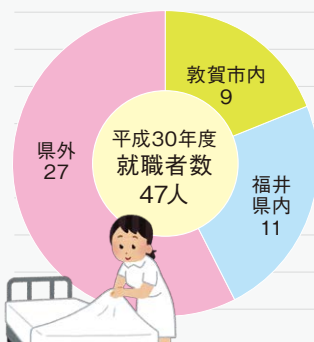


※出身校の住所による



卒業生の進路状況

就職勤務地内訳



主な就職先

<敦賀市内>

市立敦賀病院／敦賀医療センター／敦賀温泉病院

<福井県内>

福井県立病院／福井赤十字病院／公立丹南病院
福井県（保健師）

<県外> 京都大学医学部附属病院／名古屋市立大学病院
彦根市立病院／市長浜病院／岐阜総合医療センター
大阪大学医学部附属病院／兵庫医科大学病院
虎の門病院／茅ヶ崎市立病院 など

図書館だより

敦賀市立看護大学附属図書館は学外の方もご利用いただけます。

利用できる方 ◎敦賀市に在住又は勤務する18歳以上の方
◎その他附属図書館長が適当と認める方

開館日時 ◎通常時 9:00～19:00
◎休館日 土曜日及び日曜日 国民の祝日
※詳細は本学のホームページを参照してください。

貸出 ◎図書は館外貸出が可能です。ただし、雑誌・新聞・視聴覚資料・禁帯出資料を除きます。
◎館外貸出には、「学外利用者証」が必要です。
※「学外利用者証」の発行を希望される方は、現住所の分かる身分証明書（運転免許証・保険証・職員証）をご持参の上、カウンターへ申し出てください。



◎貸出冊数：5冊以内
◎貸出期限：2週間以内

返却 ◎図書は、必ず返却期限内にカウンターへご返却ください。
◎1冊でも返却期限を過ぎた図書があると、新たに図書を借りることができません。

学生食堂のご案内

敦賀市立看護大学の学生食堂は一般の方もご利用いただけます。リーズナブルなメニューが揃っていますので、近くにお立ち寄りの際は、ぜひご利用ください。

営業時間 平日11:30～14:00(13:30ラストオーダー)

メニュー ○日替りランチ500円(学内者400円)
○アラカルトランチ500円(学内者400円)
○日替わり麺350円(学内者250円)
○カレー450円(学内者350円) など



※営業時間、メニューは平成31年度のもので、
※夏季、年末、年度末は長期休業する場合があります。

編集後記

今回のすずかけ6号では「地域貢献」をメインテーマとして内容を構成しました。地域の皆様と本学の教職員や学生が関わるイベントや事業が継続して実施されています。さらに、敦賀市ははじめ嶺南地域に向向いて行う市民公開講座があります。また、地域の皆様が大学施設に足を運ばれる機会としては、地域在宅ケア研究セン

ターが中心となり開催している看護大学健康講座や看護大学研究報告会、これに加えて学生主催の『海凜祭』があります。この他に附属図書館や学生食堂も一般に開放されています。今後も絶えることなく本誌で紹介できるよう、皆で日々努めてまいりますので、よろしく申し上げます。
(編集委員長 山崎弘美)